

東京家政大家政 神野 節子

本研究は羊毛を汚染する微生物について、その種類や羊毛汚染の様相を解明することを目的とする。

汚染羊毛からの菌の分離は次のようにして行なった。細菌による汚染と思われる羊毛は、その1部をブイヨン培養液に入れ、 27°C と 37°C で48時間培養。希釈列を作り、その1ccを滅菌ペトリ皿に入れて普通寒天培養基を注入し混和平板培養 (27°C 24時間)。出現した単一コロニーを純粋培養してその形態、生理的性質等については常法により検査して種類を固定し、カビと思われる汚染は、ブイヨン培養液、麦芽、馬鈴薯、ツアペック等の平板培養基に羊毛を投入あるいは接毛して 27°C で培養し、出現するカビを純粋培養して、常法により菌の種類を検索。さらに分離菌が本当に羊毛汚染菌であるかどうかを確認するために、汚染されない羊毛に菌を培養して汚染の様相を比較した。

今回は羊毛汚染微生物のうち、羊毛を青くあるいは褐色に汚染する *Pseudomonas aeruginosa* と赤く汚染する *Serratia macesens* を分離し汚染を確認したのでこの2菌の汚染についてカラー写真で紹介する。